



2019-2020 主題

国際会長：Jennifer Jones  
 “Building today for a better tomorrow”  
 “On the MOVE!!” [さあ動こう!!]

アジア太平洋地域会長：田中 博之 “Action!” 「アクション！」

東日本区理事：山田 敏明 「勇気ある変革」  
 「みんなで力をあわせて1.2.3」

湘南・沖縄部長：森田 幸次郎 「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」

クラブ会長：久保 勝昭 “良きつながりを持って”心ひとつに  
 「無理のない奉仕活動を」



“鶴が羽ばたく日”

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

私は、2010年に解散した横浜ノースワイズメンズクラブ(1977年チャーター)に1983年に入会しました。北YMCAと共に36年、ノースクラブ解散後北Yの運営委員長を5年、つづきワイズメンズクラブに3.5年お世話になりました。そして今回3月17日の総会、6月16日に実施したチャーターナイトを経て「新クラブ・横浜つるみワイズメンズクラブ」を横浜YMCA、ワイズメンズクラブの多くの人々の力により立ち上げることが出来ました。本当に感謝、感謝でした。新クラブという事で初めてのチャーターバッジをいただきましたが、同時に会長に就くことになり、その責任の重さ、リーダーシップの難しさを十二分に感じています。“良きつながりを持って”心一つに「無理のない奉仕活動」を会長主題といたしました。

2018年9月19日に横浜市生麦地域ケアプラザにおける、ワイズメンズクラブの説明会に6名の方が参加してくれました。いずれも自分が実施している「うたごえ広場」の参加者です。歌声広場終了後の清掃や、ケアプラザまつりの焼きそばの準備、作り、販売等、もう6年も前から活動している人たちでした。又あとから入会されたお2人も鶴見地区、また他地区においてボランティア活動をすでにされておりました。担当主事を含め9名のメンバーで横浜YMCAのプログラムにも積極的に参加したいと思っています。“立ち上げ”に際し長年に渡る信頼関係も今回、強い力になりました。プログラムと一緒に入れさせていただいたミニバナー(100枚)も全員の手づくりであったことも記しておきたい。最後に皆さんと一緒に力強く歌った「翼をください」により強い翼をいただきましたが、本当に「大きく飛べる日」がいつ来るのか、日々模索しておりますが、メンバー全員の「良き絆」があればきっと、きっと大きく飛ぶことが出来る事を確信しております。



2019年6月16日 国際協会加盟認証状伝達式記念写真

国際協会加盟認証状伝達式に思う

島田 徹 (担当主事・鶴見中央地域ケアプラザ所長)



2019年6月16日、鶴見中央地域ケアプラザにて、横浜つるみワイズメンズクラブチャーターナイトが開催されました。当日は、南は沖縄クラブから、北は札幌クラブまで多くの方にご参加いただき、横浜 YMCA スタッフを含めて、総勢 94 名の方とともに会を持つことができました。第一部では、立ち上げを支援して頂いた湘南・沖縄部の佐藤節子部長より暖かいお言葉をいただき、また横浜つるみワイズメンズクラブ久保勝昭会長より、設立経過報告がありました。国際協会加盟認証状伝達式では祝辞としてアジア太平洋地域会長の田中博之様から、設立メンバーの定員数変更になってからの初めて立ち上がるクラブであり、今後の新しい形の一つとして、活動してほしいというメッセージをいただきました。また横浜 YMCA 理事長工藤誠一様、横浜 YMCA 総主事田口努様、東日本区 EMC 事業主任伊丹一之様よりご祝辞を頂きました。

第二部祝会では、食事とともに、横浜つるみワイズメンズクラブチャーターメンバーの皆様より歌と音楽の演奏があり、和やかな雰囲気の中で催されました。最後に久保勝昭会長からお礼の言葉と新たな決意のお話があり、皆様のご協力のもと無事に会を締めくくることが、できましたことに感謝申し上げたいと思います。

また、活動地域である鶴見区において横浜 YMCA としては、鶴見中央地域ケアプラザ、生麦地域ケアプラザ、ライフサポートセンター鶴見、YMCA つるみ認定こども園の 4 つの拠点と、生麦小学校キッズクラブ、聖ヨゼフ学園学童事業、鶴見区の生活保護世帯の中学生に対する学習支援である寄り添い型支援事業の 3 つの事業を展開しております。乳幼児から高齢者まで、幅広い世代に対して活動をしており、地域との結びつきもそれぞれの拠点でできています。そのような中で新たに「横浜つるみワイズメンズクラブ」が立ち上がり、YMCA と協働することにより、一層地域活動が深まり、法人の基本理念にある、「平和な社会の実現のために、地域に根差した活動」が、実践されることと思います。

《第 1 部 国際協会加盟認証状伝達式 (17:15~18:30)》



入会式 宮内東日本区理事



認証状伝達 田中アジア太平洋地域会長



チャーターバッチ装着



祝辞 工藤 誠一 横浜 YMCA 理事長

《第 2 部 祝会 (17:15~18:30)》

司会：今城 高之  
(横浜つぎ)

千葉 裕子  
(鎌倉)



祝辞 山田 敏明 (19~20) 理事



アジア太平洋地域大会 PR



お世話になった横浜 YMCA スタッフとともに



久米康子お礼のことは

# ☆ ツルのひとこと ☆

久保 勝昭 (会長)



横浜つづきワイズメンズ&ウイメンズクラブに感謝

2015年1月つづきクラブに入会。2010年にノースクラブ解散後、毎年入会のお誘いは受けていました。会長は受けない条件で入会しました。北Y、藤沢Y、生麦ケアプラザの歌声広場を自由にやらせていただき思い出の一コマになりました。また、クラブ独特のプログラム、富士山例会、移動例会、北Y交流会等、楽しいプログラムには一度も休むことなく参加させてもらいました。そして心に残っているのは、卓話で「ハンクウィリアムス物語」をやらせていただいたことでした。最後の例会6月28日には、素敵なパーカーのボールペン(写真)のプレゼントをいただき感激でした。本当にありがとうございました。今後とも貴クラブとのお付き合いよろしく願いいたします。

プレゼント



つづきクラブのウイメンズと共に

7月在籍者数		7月出席者数		出席率
メンバー	9名	メンバー	8名	89%
		ゲスト		
計	9名	合計	8名	89%

横浜つるみワイズメンズクラブ第1回例会  
 日時：2019年7月12日(金) 17:00~18:30  
 場所：横浜市鶴見中央地域ケアプラザボランティアルーム  
 出席者：久保、久米、駒井、新改、中村、松井、吉本、渡辺  
 欠席者：島田

- 【プログラム】 司会進行 久米康子  
 ◎開会点鐘・挨拶 ワイズソング、ワイズの信条、久保勝昭  
 【報告連絡】 1. チャーターナイトについて (反省その他)  
 2. 会計報告  
 3. 監査  
 【協議事項】 1. 年間計画  
 2. 2019/7/1~2020/6/30 行事予定  
 3. 2019年度クラブ予算  
 4. その他  
 【ハッピーバースデー】 該当者なし  
 ◎閉会点鐘：会長

久米 康子



ふれあいの家でのボランティアコンサートが始めて3年になりますが、障害者の方々が体中で喜びを表現して下さるので私共も元気を頂きます。音楽がリハビリの助けになる様で続けたいです。

駒井 恵美子



鶴見中央地域ケアプラザ(火曜日)、鶴見市場ケアプラザ(木曜日)で週各1回、デイサービスでボランティア活動を始めて7年になります。AM10時~13時の間で、テーブル拭き、お茶出し、入浴後のドライヤーが主な仕事です。基本的には週2回ですが、体の続く限り頑張っ続けたいと思っています。

新改 悦子



趣味は書道・ジャズ音楽特にテナーサックスの音色のひびきが好きです。ジャズコンサートは1人でも出かけて行きます。ワイズの仲間と無理なく楽しく活動できるよう頑張ります。

中村 純子



チャーターナイトを迎えるまで、エクステンション委員会の皆様に支えられ「ワイズとは？」の講義や例会などで、学ぶ場を与えてくださり、ほんとうに「至れり尽くせり」面倒をみていただき、ワイズの素晴らしさを知りました。奉仕により人と人の繋がりの中から新しいことを知り、それに挑戦する楽しさを感じながら活動していきたいと思ひます。

松井美津子



新しい「横浜つるみワイズメンズクラブ」と、新しいお仲間の皆様。右も左もわからない状態で入会させて頂きました。いま、多くの奉仕活動に参加させて頂き、そして少しでもお役に立てるよう願っております。

吉本正子



今年(2019年)元日、突然会員の久米さんより「6月に、ボランティアのクラブを立ち上げるのを、手伝っていますが、興味ありませんか?一度お会いしたい」とメールを頂きました。詳細は判らず、軽い気持ちで参加し、その儘流れて、まさかこんな大きな組織の一員になるとは、思ってもおりませんでした。今、色々反省する事だらけです。会員にならせて頂きました以上は、私の残された人生、微力ではございますが、少しでもお役に立てる様、努めて参りたいと、思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます

渡邊 光枝



ボランティア活動が皆無のわたしです。経験豊富な仲間と活動していきたいと思っています。まずは、参加することを目指します。

ワイズメンズクラブ国際協会 第28回アジア太平洋地域大会報告  
大会テーマ「ACTION! 前へ進もう!」  
2019年7月19~21日 仙台国際センター

参加国 日本 台湾(113名) 中国 韓国 オーストラリア フィリピン ブラジル ネパール インド  
インドネシア パキスタン マレーシア スリランカ デンマーク ノルウェイ (参加者 729名)

大会1日目(会議棟・大ホール)

- ☆ オープニング 仙台南高等学校音楽部合唱団 30人の「忘れないでね」の女声コーラス ----->
- ☆ 挨拶: アジア太平洋地域会長、大会委員長、大会実行委員長  
祝辞: 仙台市長、アジア・太平洋YMC A同盟総主事
- ☆ 国際会長の就任式=Jennifer Jones (オーストラリア)
- ☆ 【公開講座】「復興と防災の未来」  
第1部 村井嘉浩宮城県知事【東日本大震災からの復興と防災への取り組み】  
第2部 国崎信江危機管理教育研究所代表【あなたと子供を災害から守る方法】
- ☆ 直前アジア太平洋地域会長主催晩餐会  
【さとう宗幸氏 ミニコンサート】  
【仙台すずめ踊り連「六軒丁睦」モッシージャズオーケストラの演奏



国際会長 Jennifer Jones

大会2日目(4コースに分かれバスで被災地へ)

私共は、石巻市立大川小学校をバス3台で視察  
◎ニュースと実際の悲惨現実は、見学してこれから先の学校防災のあり方、学校管理下での防災ルール、突然の意思決定、平素の訓練と緊急避難訓練を経験することが、重要である。

14:46 (地震発生)  
15:37 (津波到達)  
までの時間



51分

津波で止まった時計

◎海から大川小学校の距離は3.7km、海拔1.1m、裏山までの距離150m 傾斜9度(シイタケ栽培の学習)、襲った津波の高さ8.6m、地震発生から津波到達まで51分。  
津波から避難したのは、1分前、裏山でなく川に向かった。  
全校児童数108名、犠牲になった児童数(死亡70、行方不明4)、犠牲になった教職員数10名

◎15分前に女子児童を迎えに来た保護者は、教員に「早く山に逃げて」と強く進言するも、聞き入れられず「自分の子供のみを引き取って」。この事も学校管理下のルール。

1・2年生の教室だった



◎男子児童が「裏山へ逃げっぺ」と進言するも聞き入れられず妹と裏山へ、しかし津波にのまれ、畳の上の児童は自衛隊に救助され、妹は犠牲になった。この事は話さないよう、市の職員が進言。多くの友人の命の為伝達するべきと判断。

◎何故、裏山に逃げなかったのか?  
後者の周りに柵があり、1ども柵越の訓練をした事がない。  
机2台で柵越裏山へ1分で逃げる事、可能(実験で検証)

8.6m

大川小を襲った津波の高さ(海拔9.7m)

2階教室の天井に津波の跡がある

◎職員が真っ黒い津波でとっさの判断を間違えた。

◎異なる3カ所の保育園は、運動を兼ねて毎日、独自の避難訓練をして被災者0である。教訓となる。

◎中学教師を退職、語り部として「小さな命の意味を考える会」の代表 佐藤 敏郎氏、風化を防ぐ活動

大会3日目(つるみワイズは欠席)

- ☆ 日曜礼拝
- ☆ IBM締結式
- ☆ 国際表彰および各種報告
- ☆ プロモーション
- ☆ クロージングセレモニー

(久米康子・中村純子 記)



避難可能な情報は十分あった